

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	JAみなみ信州畜産共進会支援事業	会計	一般会計	事業No.	383	施策順No.	11-008
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-1-6-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	農業課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	みなみ信州農業協同組合						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
		具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	誰、何に	畜産農家数:戸	169	159	143	128	150		
		飼養頭数(乳牛・肉牛・養豚):頭	16138	15628	16551	1665	16500		
	意図	共進会の運営をしてもらう。 部門毎に賞を与えることにより、生産農家の生産意欲の向上と品質向上につながる。							
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度 <b>C</b>
		出品頭数:頭	149	148	145	150	127	160	
		出品頭数÷畜産農家戸数=出品率	0.88	0.93	1.01	1.05	0.99	1	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	畜産農家の高齢化等により農家数及び飼育頭数が減少しているが、共進会への出品率は安定している。今年度は、他県において口蹄疫が発生し畜産農家においては、感染予防対策の厳しい中、共進会へ出品し、技術の向上、意識の高揚に努めた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>飯田下伊那地域の家畜改良と畜産振興を図り、農業経営の向上に資することを目的として開催される畜産共進会に対する後援負担金。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この共進会は、長野県畜産共進会の予選会も兼ねている。長野県内各地域で開催されているが、他地域については審査員が農家巡回時に審査を行っており、農家から集蓄方式で開催されるのは当地域のみである。集蓄方式で開催されるメリットは、畜産農家が一同に介することによる技術の向上と意識の高揚につながっている。また酪農においては、県共進会がないため当地域のみでの開催である。</li> <li>この共進会の一環としてJA各ブロックごとのJA祭において畜産物フェアを開催し畜産物の販売促進を図っている。</li> <li>共進会はそれぞれの畜種ごとに部門を分け開催。(豚肉枝肉の部、種牛の部、肉牛会場の部、肉牛枝肉(和牛)の部、肉牛枝肉(F1)の部)</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 後援団体会議への参画 2 負担金納付事務 3 畜産共進会への参画	共進会の開催数	5回
	23年度実施計画	共進会の開催数	5回

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		その他	0		0	
	一般財源		150	150	150	
	計 (A)	150	150	150		
	正規職員所要時間		40			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)		143			
	トータルコスト A+B		293			

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>・安心・安全な農畜産物を求める消費者が多くなってきている。</p>
--------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	畜産物の維持拡大には、市町村及び関連団体の連携は必要であり、積極的に進めてきた。また、畜産農家が一同に介することによる技術の向上と意識の高揚につながっている。		
	後期に向けた課題	生産基盤の維持、拡大、畜産農家の情報交換等、今以上に、技術の向上と意識の高揚が高まるような取り組みが必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	共進会で、表彰等を受けることで、次の共進会でも良い成績を取ろうと頑張る。そんな事から生産意欲の向上、品質のレベルアップにつながるよう進めてきた。		
	後期に向けた課題	今以上の畜産フェアへの取り組み、食農教育との連携が必要。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	後援参画、及び負担金納入業務のため削減余地はない。		
	後期に向けた課題	全体事業の見直しをはかり、削減できる部分(受益者負担分)については検討する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	他市町村の共進会は、審査員が農家巡回時に審査を行うが、当市では農家から集畜方式で開催している。その為には、経費もかかってしまおうが利点として畜産農家が一同に介することで、技術の向上につながっている。。		
	後期に向けた課題	全体事業等の見直しをはかり、削減できる部分について検討する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	・JAみなみ信州が飯田下伊那地域の家畜改良と畜産振興を図り、農業経営の向上に資することを目的に他農協との連携して畜産共進会を主催している。 ・行政としては、この目的達成のために共進会へ後援する他、HPでのPR等を実施している。		
	後期に向けた課題	引き続き、生産農家の生産意欲の向上と品質向上につながるような後押しを行いたい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	畜産農家の情報交換等の場所になり、畜産農家の技術の向上、意識の高揚につながった。		
	後期に向けた課題	地域の多くの方に畜産業を理解していただくよう、更なるPRが必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------